

九州の 伝承遺産 シンポジウム 2005 長崎



長崎「軍艦島」(軍艦島実測調査資料集)

江戸時代、長崎はわが国唯一の世界との接点として、長崎をとおして多くの文物が海外から日本に持ち込まれるとともに、日本の文化を海外に紹介する窓口であった。明治維新前後、長崎は九州諸地域とともにいち早く当時世界最先端の産業技術を導入し、わが国近代化の牽引力となった。わけても軍艦島(端島)は明治時代に三菱財閥により開拓された炭坑の島であり、長崎の地にあつて、三菱重工業長崎造船所とともに、日本の近代化ならびに第二次世界大戦後のわが国の復興に多大の貢献を果たした。

明治維新以来百数十年が経過した21世紀初頭の現在、長崎造船所のようにいまなお現役の施設として社会経済的に重要な役割を担っている一方で、多くの施設はすでにその役割を終えている。たとえば、軍艦島は1974年に廃坑となって以来、島民はすべて島を退去し、廃墟と化している。こうした産業上の遺跡や遺物のことを一般に産業遺産というが、改めて周囲を見回してみると、九州各地にはこうした産業遺産をはじめとして先人の営みによる文化的な遺産がいまなお数多く散在している。

文化的な遺産のなかでも特に伝承に値する遺産を伝承遺産と呼ぶことにすれば、伝承遺産をそのまま朽ちるにまかせてよいのだろうか。われわれの過去をそのまま放置して忘れ去ってしまつてよいのだろうか。われわれはここにはっきりと、そうではない、そうしてはいけないと宣言する。

そもそも、社会が未来に対して開かれているところに近代社会のひとつの特質がある。そこでは未来が不確定である。ここに現代社会の不安定さが顕在化する。それを回避するためのひとつの手だてとして、過去を温めることが望まれる。いたずらに過去に拘泥するのは論外であるが、新奇なものを追い求めるだけでは不足である。

ところで、伝承遺産は物言わぬ過去の語り部であるとともに、未来を照らす導きの師である。伝承遺産は人々の情操をはぐくみ、心を豊かにするとともに未来に思いをはせるためのよすがとなる。こうした伝承遺産を保存し修復し活用することにより、その存在を人々が知識として広く共有することは、人々が等しく己の過去を知り、未来を訪ねるための契機をなすのであり、ここに伝承遺産の普遍的な意義があるのである。

本シンポジウムは長崎からの発想であり、九州との連帯を求めるとともに、日本全国さらに全世界へ向けての発信である。本シンポジウムをつうじて、伝承遺産を保存し修復し活用するための活動に多くの人々が参加することを呼びかけるものである。

シンポジウム開催発起人一同

下記写真はHPより転載



鹿児島「尚古集成館」



熊本「通潤橋」



福岡「志免炭鉱立坑櫓」



長崎「高島北溪井坑」

軍艦島から始まる九州の伝承遺産

「九州はひとつ」を合言葉に各地に残されたさまざまな遺産を保存・活用し、後世に伝承しよう!

2005年8月21日(日) 開場 12:30 開会 13:00 閉会 17:30 入場無料(資料代500円)

■プログラム

軍艦島の現状ビデオ上映と現状報告

「軍艦島調査報告」後藤恵之輔(長崎大学工学部教授)

■基調講演

「軍艦島の近代建築群の歴史的意味」阿久井喜孝(東京電機大学名誉教授)
「九州の産業遺産群を世界遺産」後藤治(工学院大学建築都市デザイン教授・文化庁出身)

■各地の伝承遺産紹介

「鹿児島・志免・熊本・高島・大牟田から」

■パネルディスカッション

「地域の伝承遺産を活用・保存する」

○コーディネーター

後藤恵之輔(長崎大学工学部教授)

○パネリスト

古庄信一郎(福岡志免町町会議員)
長谷川雅康(鹿児島大学教育学部教授)
幸田亮一(熊本学園大学商学部教授)
坂本道徳(軍艦島を世界遺産にする会)

○アドバイザー

阿久井喜孝(東京電機大学名誉教授)
三藤利雄(長崎県立シーボルト大学国際情報学部教授)
中村享一(建築家)
加藤康子(都市経済研究家)

■主催

NPO法人軍艦島を世界遺産にする会・長崎大学(工学部社会開発工学科)

■後援(順不同)

長崎市・大村市・長崎商工会議所・大村商工会議所(社)長崎県観光連盟・長崎県商工会青年部連合会(社)日本建築家協会九州支部(社)日本建築構造技術者協会九州支部(社)土木学会西部支部・九州産業考古学会(社)地盤工学会九州支部・九州橋梁構造工学研究会・NHK長崎放送局・NBC長崎放送・KTNテレビ長崎・NCC長崎文化放送・NIB長崎国際テレビ・朝日新聞社・長崎新聞社・西日本新聞長崎総局・読売新聞西部本社・毎日新聞社長崎支局・共同通信社長崎支局・日経アーキテクチュア・THEながさき

■協賛(五十音順)

旭砕石(株)・アダチ産業(株)・稲佐山観光ホテル(有)共同観光・居留地ネットワーク・サンスノオむら(有)ジーエイチエス・長崎船舶装備(株)長崎電気軌道(株)(有)広福21(株)福砂屋・ヤマサ海運(株)



■会場

長崎大学中部講堂(長崎市文教町1-14)
路面電車系統1・3番「長崎駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き「長崎大学前」下車

※参加ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、往復ハガキまたはE-mailにてお申込みください。

■申込み先

NPO 軍艦島を世界遺産にする会
「九州の伝承遺産シンポジウム」係り
〒851-2128
長崎県西彼杵郡長与町郷里郷 456-11
TEL・FAX: 095-883-8811
E-mail: office@gunkanjima-wh.com